

平福小学校グローバル学習



岡山市立平福小学校のグローバル学習でカンボジアについて学習している6年生の子ども達が、シェムリアップ州の新しいチャイルドケアセンターの子ども達へ彼らの思いのこもった品々を送っていただきました。上の写真はチャイルドケアセンターの子ども達が荷物を受け取ったときに撮ったお礼の写真です。この写真はHGスタッフを通し、平福小学校の子ども達に届けられました。

平福小学校では平成18年度の1年間を通して6年生の子ども達が積極的にカンボジアについての学習に取り組んできました。18年度にはHGスタッフ(本部事務局スタッフ、カンボジアからの研修生)による小学生の子ども達への講義も各学期ごとに行い実際に子ども達が考えた事を行動に移し、実行するといったとても実践的な活動を行ってまいりました。



<HGスタッフによる講義風景>

グローバル学習ではHGスタッフ(担当者)によるチャイルドケアセンターについての学習が行われました。

2時間に及ぶ講義の間じゅう、真剣なまなざしで、HGスタッフの話聞き、自分たちの発見カードに話の中で気づいた事、感じたことなどをメモして書いていました。また、質疑応答の時間にはHGスタッフへとても積極的に質問を投げかけ、していました。

<子ども達>

- ・小さな事もみんなですると大きな力に変わると聞いて自分たちのやったことも意味があったんだと改めて分かった。
- ・親がいなくても、貧しくても毎日を真剣に生きて、どんな生活をしていても笑顔で明るいチャイルドケアセンターの人たちがすごいと思った。私もそんな風に生きていけたらいいなと思った。
- ・カンボジアは貧しいけど、人々に笑顔があふれているのがすごいと思った。大人になったら一回でもいいから行ってみたいと思った。
- ・カンボジアの子ども達は、もっともっと悲しい顔をしているのかと思っていた。でもお話を聞いたり写真を見て、カンボジアの子ども達の笑顔で私達が元気もらった。

